

家族も含めフォロー ユタカ産業 (豊見城市)

社員の健康管理の戦略的な実践で企業の生産性と価値向上を目指す「健康経営」。県内の「健康経営優良法人」認定企業を紹介する。

田中緒佐社長



農業資材を専門に取り扱うユタカ産業は、アクサ生命保険が提供するサポートパッケージの

「産業医プログラム」を活用し、健康経営に取り組んでいる。

パート勤務含めた従業員数14人の同社では、大規模な事業所に比べ一人一人の役割はより大きい。安心して働ける環境づくりをと、今年1月から導入した。このプログラムでは従業員とその家族（三親等まで）が、心身の不調を医師に24時間体制で相談できることが大きな特長だ。総務部の担当者は「チャットでも相談でき、文字だけでなく写真も送れるので症状が伝えやすい」と、受診のハードルが下がることを期待する。

チャット型医療相談(イメージ)

相談科目は全12科目



症状の分かる画像送付が可能

実際の活用はこれからだ。田中緒佐社長は「いざというときすぐ利用してもらえるよう周知を続ける」と話す。「少しでも健康管理を手助けしたい。家族も使えるのがメリット。小さい子どものいる人もおり、突発的な不調もあると思う。それにも活用してほしい」

担当者からひとこと



小規模の事業所では特に、各従業員が業務に追われる中、不調への対応は後回しになりがち。産業医プログラムは職員4人の事業所も利用があります。会社の福利厚生としてもお勧めです。

提供:うちなー健康企業会